

2021年2月1日

学校法人秋葉学園 成田国際福祉専門学校 学校関係者評価報告書

評価者：学校関係者評価委員会

<2019年度の学校関係者評価>

1. 学校関係者評価委員名簿

NO	氏名	所属	任期
1	川筋 勉	(株)レジデンスターミナル代表取締役	2年
2	立花 久稔	神田外語大学 非常勤講師	2年
3	宮田 浩司	成田市観光協会 SP 委員	2年
4	田宮 秀樹	田宮行政書士事務所 代表	2年
5	寺内 孝夫	公益財団法人成田市スポーツ・みどり振興財団	2年

2. 学校関係者評価委員会開催日時

2021年1月31日(金)午後3時から午後5時

会場 1号館 保育士学科図画工作教室

3. 学校関係者評価委員会出席者(合計11名)

学校関係者評価委員(全員出席)5名

学校教職員

校長 佐藤・保育士学科教務主任 友永・介護福祉士学科教務主任 田代・商業実務教務主任 山口
事務局 林・中川 計6名

4. 経過・議事について

事務局より委員(全員)出席確認後本委員会が成立する旨を述べ、校長より学校関係者評価委員会開催にあたり挨拶があった。校長から学校の現在の状況や募集状況の話があり、その後、学校内自己点検・自己評価委員会2019年度評価をもとに、学校関係者評価委員による評価を行った。

1. 学校の教育目標

人間教育を基本とし、国際化社会における知識と知恵と技能を授け、国際経済ならびに健康・医療・福祉に貢献する人材の育成を目的としており、積極・誠実・創造を教育理念としている。

具体的には、積極では、経営に関する専門的知識・技能を身につけた行動力のある積極的な社会人の育成。誠実では、人間性豊かな情操と心身共に明るく健全な、誠実性のある調和のとれた社会人の育成。創造では、高度な国際情報化社会の中で、創造性に富み自主的で責任感の強い社会人の育成を教育の目標としている。

2. 本年度の定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

「専門的知識・技能・技術を教育し社会に貢献する人材」を人材育成方針とし、単に知識や技術を研究するに留まらず人間性を高める教育を併せて展開する事により、真に社会に役立つ人材を輩出する事を目標としている。

3. 評価項目の達成及び取得状況

大項目	中項目		自己点検評価					
			5	4	3	2	1	NA
基準 1 教育理念・目的・ 育成人材像	1-1	理念・目的・育成人材像は定められているか		○				
	1-2	学校の特色はなにか		○				
	1-3	学校の将来構想を抱いているか			○			
	全体			○				

① 論評

教育理念・目的・育成人材像については、下記エビデンスにあるように入学前・入学後に様々な機会を通して実施されている所であるが、本年度は下記エビデンスの内容の再検討に十分な検討がなされなかった事から、この項目全体の自己点検評価を「4」とした。

② 今後の改善方策

下記エビデンスの内容を再点検するとともに、浸透のための新たな具体策を考える事を今後の方策とする。

③ エビデンス

- 1-1 入学案内書・学則・学生便覧
- 1-2 入学案内書・学生便覧・その他の媒体
- 1-3 入学案内書・学生便覧・入学前ガイダンス・学校説明会(学科別)
入学後のオリエンテーション

基準 2 学校運営	2-1	運営方針は定められているか			○			
	2-2	事業計画は定められているか			○			
	2-2	運営組織や意思決定機能は効率的なものになっているか			○			
	2-3	人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか			○			
	2-4	意思決定システムは確立されているか			○			
	2-5	情報システム化等による業務の効率化が図られているか				○		
	全体					○		

- ① 論評 運営については、理事会・評議会等適切な運営がされていること、またこれに係わる各種書類も整備されている。前年度と同じく意思決定システムや業務の効率化については、尚研究する余地があることから、この項目の全体自己点検評価を「3」とした。
- ② 今後の改善方策 意思決定に係わるまでの稟議や連絡・相談・報告等をより以上綿密にすることにより、連絡ミスや事故のないように務める。
- ③ エビデンス
2-1 寄付行為・資金収支計算書・消費収支計算書等の財務書類
2-2 事業計画書・理事会・評議会議事録
2-3 人事考課・就業規則・校務分掌
2-4 就業規則・賃金台帳等の財務書類
2-5 校務分掌・稟議書
2-6 職員室内の CP・OA 機器の設置

基準 3 教育活動	3-1	各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	○				
	3-2	各学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らして、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして、明確に定められているか	○				
	3-3	カリキュラムは体系的に編成されているか	○				
	3-4	学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか	○				
	3-5	授業評価の実施・評価体制はあるか	○				
	3-6	育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	○				
	3-7	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	○				
	3-8	資格取得の指導体制はあるか	○				
	全体		○				

① 論評 本校の設置学科である2つの学科、介護福祉士学科、保育士学科は、厚生労働省指定の養成施設となっており、カリキュラム等は、法律で定められている。介護福祉士学科においては、現時点、国家試験を受ける事になっており、国家試験で合格できるよう国家試験対策室を設け、介護教員全員で指導にあたっている。また、同じ厚生労働省指定の養成施設である保育士学科では、卒業が資格取得の要件となっているため、常勤教員と非常勤教員の連絡を綿密に行い学生指導にあたっている。特に両学科は、校外実習が多いことから実習先の指導員との連携も必要になっている。また医療秘書学科においては、長期に渡る病院での実習をより効果的なものとするため、病院実習前の事前指導を実習指導者との連携により充実させてきた。下記エビデンス内容をチェック検討した結果、昨年度の全体評価「3」から「4」とした。

② 今後の改善方策 更なる教育活動向上を目指す。

③ エビデンス
 3-1 学校説明会・入学案内書・学生便覧・オリエンテーション・就職説明会
 校長・教務主任会議(随時)・シラバス・授業計画書・授業報告書
 社会福祉士及び介護福祉士施行令第5条に基づく報告(介護福祉士学科)
 児童福祉法施行令第5条5項に基づく報告(保育士学科)
 3-2 学校説明会・入学案内書・学生便覧・オリエンテーション・就職説明会
 校長・教務主任会議(随時)・シラバス・授業計画書・授業報告書

4-4 校友会(OB会)・学園祭

基準 5 学生支援	5-1	就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか		○				
	5-2	学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか		○				
	5-3	学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか		○				
	5-4	学生の健康管理を担う組織体制があり、有効に機能しているか		○				
	5-5	課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか		○				
	5-6	学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか		○				
	5-7	保護者と適切に連携しているか		○				
	5-8	卒業生への支援体制はあるか		○				
	全体				○			

- ① 論評
- 学生は常に担任との相談ができる体制にある。また、就職部や奨学金の担当も別にあるので、目的に合った詳しい相談ができる体制にある。学生の経済面での支援については、学園の奨学金がある。その他下記エビデンスにあるような各種の奨学金があるので、希望者に円滑に案内・活用できるよう進められている。学生の健康管理については、毎年5月に検診車による健康診断を学生全員が受診し、その他日常の学校生活では、校医により受診することとなっている。また、課外活動に関する支援体制については、教員と学生委員による綿密な計画相談を行い実施している。また学生の生活環境支援としては、学生寮(女子寮)を用意しており、遠方からの入学者用に対し案内している。
- 保護者との連携については、欠席・遅刻が多い場合には担任より保護者に連絡、また成績やその他の学生に関する相談も担任と保護者の連携で行っている。卒業生の支援については、卒業生離職者の就職相談、就職先斡旋、来校する卒業生の仕事悩み相談など、学科ごとに対応しており、この項目の全体自己点検評価を「4」とした。
- ② 今後の改善方策
- 卒業生支援については、校友会との意見も聞き支援体制を検討していきたい。
- ③ エビデンス
- 5-1 学校基本調査・就職説明会・卒業年次学科クラス担任と就職部連携会議
5-2 クラス担任制・校務分掌

- 5-3 秋葉学園奨学金・介護福祉士修学資金制度・保育士修学資金制度生・生命保険協会奨学金・日本学生支援機構奨学金・校務分掌
- 5-4 学校健康診断の実施・校医執務記録簿・校務分掌(担任・主任・校長体制)
貯水槽清掃報告書(水質検査)
- 5-5 校務分掌(担任・主任・校長体制)
- 5-6 学生寮(女子寮)
- 5-7 担任制・三者面談の実施
- 5-8 就職部・各学科(卒業後の相談窓口)・校務分掌

基準 6 教育環境	6-1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応出来るよう整備されているか			○			
	6-2	学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか		○				
	6-3	防災に対する体制は整備されているか			○			
	全体				○			

- ① 論評

厚生労働省より介護福祉士養成施設の認可、指定保育士養成施設の認可をうけているので、施設・設備は、教育上の必要性に十分対応出来るよう整備されている。また学外実習についても同様である。また防災についても年に1回防災訓練を行って消防署に報告している。ただし、施設・設備の空調や照明、トイレなど全体的に老朽化が進行しており、対応が遅れる事がある。この項目の全体自己点検評価を「3」とした。
- ② 今後の改善方策

老朽化した施設・設備を把握し、リストを作り優先順位を決め、順次整備。
- ③ エビデンス
 - 6-1 設置認可書・校舎増減届・介護福祉士養成施設申請書(認可)
指定保育士養成施設申請書(認可)
 - 6-2 学則・介護福祉士養成施設申請書(認可)・指定保育士養成施設申請書(認可)
 - 6-3 防火管理体制・消防用設備等点検結果報告書(消防)・防火管理者

基準 7 学生の募集と 受け入れ	7-1	学生募集活動は適正に行われているか		○				
	7-2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか		○				
	7-3	入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき、行われているか		○				
	7-4	学納金は妥当なものとなっているか		○				
	全体			○				

- ① 論評 介護福祉士学科、保育士学科、医療秘書学科、国際福祉コミュニティ学科の各学科ともに、応募者の若干の改善が見られたが、まだ数字的には低迷しており、なお一層の努力が必要である。また、外国人留学生については、国際戦略経営学科が、定員を上回る応募者があり順調であった。教育成果は必要に応じて公表している。また入学選考においては、書類選考等審査会議を設け公平な基準に基づき適正に行われている。納付金は、他の専門学校と比較しても適正であると考え。この項目の全体自己点検評価を「4」とした。
- ② 今後の改善方策 昨年度と同じく、教育成果等の実績をより多くの高校進路指導部の先生に知ってもらう努力とともに、学校説明会、体験入学、高等学校ガイダンス、奨学金説明会等を通じて高校生やその保護者によく理解してもらう等、努力が必要である。
- ③ エビデンス
7-1 学校説明会・体験入学・AO 入学制度・高等学校ガイダンス・学生募集要項
千葉県専門学校公式ガイドブック
7-2 学校説明会・体験入学・AO 入学制度・高等学校ガイダンス・学生募集要項
千葉県専門学校公式ガイドブック
7-3 入学書類選考会議・入学試験(適正試験、面接)記録・学生募集要項
7-4 財務諸表書類

基準 8 財務	8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか		○				
	8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか		○				
	8-3	財務について会計監査が適正に行われているか		○				
	8-4	財務情報公開の体制整備はできているか		○				
	全体			○				

- ① 論評 財務については、各項目書類や会計監査等適正に行われておこなわれており、ホームページによる財務情報の公開も行われていることから、全体自己点検評価を「3」とした。

② 今後の改善方策 適正に行われている。

③ エビデンス 8-1 財務関係書類
8-2 予算関係書類
8-3 会計監査書類
8-4 ホームページによる情報公開

基準 9 法令等の遵守	9-1	法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	○				
	9-2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	○				
	9-3	自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	○				
	9-4	自己点検・自己評価結果を公開しているか	○				
	全体		○				

① 論評 厚生労働省指定養成施設である介護福祉士学科、保育士学科では、法令や設置基準に適合しているか、自己点検・自己評価を含めて毎年介護福祉士学科では千葉県健康福祉指導課、保育士学科では子育て支援課に報告書を提出し、適正な運営をおこなっている。また医療秘書学科では、校長主任会議を適時開催し適正な運営がなされている。全体自己点検評価を「4」とした。

② 今後の改善方策 ホームページにて公表(随時更新)

③ エビデンス 9-1 社会福祉士及び介護福祉士施行令第5条に基づく報告(介護福祉士学科)
児童福祉法施行令第5条5項に基づく報告(保育士学科)
校長主任会議(随時)
9-2 学生募集要項・秋葉学園個人情報保護規定
9-3 校長主任会議(随時)・自己点検・自己評価委員会
9-4 ホームページで公開

基準 10 社会貢献	10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか			○			
	10-2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか		○				
	全体				○			

- ① 論評 学校の教育資源を利用した各種の委託事業や、福祉人材確保のための取り組みで県内の小学校・中学校の生徒に対して「高齢者疑似体験」授業を展開し、社会貢献をしている。ボランティア活動については、福祉の学校として老人ホームや福祉施設・保育園等に積極的に参加を奨励している。この項目の全体自己点検評価を「3」とした。
- ② 今後の改善方策 今以上に奨励推進していく。
- ③ エビデンス 10-1 成田市委託事業「家庭でできる介護」・「初級簿記講座」・成田市委託事業「子育て支援員研修」・千葉県介護人材確保事業「高齢者体験授業」
10-2 各福祉施設のボランティア募集案内の掲示

基準 11 国際交流	11-1	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか			○			
	11-2	受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか		○				
	11-3	学習成果が国内外で評価される取り組みを行っているか			○			
	11-4	学内で適切な体制が整備されているか		○				
	全体				○			

- ① 論評 留学生の受け入れについては、入学試験(筆記試験、面接)を適正に実施しており、留学生部の設置により、受け入れから在留ビザ更新等の手続きなどの手助けを行っている。また日本人学生との交流を促進するため、スポーツ大会、学園祭、サマーキャンプ等では、日本人学生と協同して実施している。また在籍管理や授業態度等に関しては、留学生部の合同会議により、出席状況や授業態度や学習面等の報告があり、指導が必要な留学生には適時担任及び教務主任が指導にあたっている。学修成果及び日本での就職状況については、主な出身校である日本語学校に報告している。この項目の全体自己点検評価を「4」とした。

- ② 今後の改善方策 留学生個々の生活指導及び学習面での面談指導の徹底
- ③ エビデンス
- 11-1 留学生募集要項・留学生入学案内書・入学試験・秋葉学園留学生特別奨学金制度
留学生ガイダンス・スポーツ大会・団体活動(4泊5日)・学園祭
 - 11-2 留学生部(入管担当・教務担当・就職担当・広報担当・特定活動担当)
留学生部会議(月2回程)
 - 11-3 日本語学校等へのガイダンス・留学生募集要項・留学生入学案内書
 - 11-4 留学生部(入管担当・教務生活指導担当・就職担当・広報担当・特定活動担当)
留学生部会議(月2回程)・校務分掌

総合的な評価

本学は、人間教育を基本とした実学教育により、社会で活躍できる実践力のある人材育成に取り組んできた。学校行事・団体活動を通じての集団活動での協調性、社会人として必要なマナーや仕事に取り組む姿勢、そして直ぐに社会で活躍できるための専門の知識や技術の修得、その証である資格の取得である。これらの教育方針のもとで、資格取得のための指導成果や学生全員の就職内定など、結果が出ている。また、県の事業である福祉人材確保のための活動や市の生涯教育の受託など積極的に地域貢献に勤めている。昨年度と同じく、学生募集活動の充実や外国人留学生に対する指導、日本人学生の入学促進や奨学金などを含めた産学連携事業の展開など、更なる整備、改善、充実を図っていく。